

執筆者紹介（執筆順）

沼崎 一郎（ぬまざき いちろう）	東北大学文学研究科
一條 文佳（いちじょう ふみか）	東北大学大学院文学研究科博士課程前期課程 修了（投稿時）
五十嵐隆幸（いがらし たかゆき）	防衛大学校総合安全保障研究科前期課程（投稿時）
岸川 毅（きしかわ たけし）	上智大学総合グローバル学部
三澤真美恵（みさわ まみえ）	日本大学文理学部
許 珩（きょ こう）	東京大学大学院総合文化研究科博士課程
松葉 隼（まつば じゅん）	一橋大学大学院社会学研究科博士課程
張 文菁（ちょう ぶんせい）	早稲田大学文学学術院
垂水 千恵（たるみ ちえ）	横浜国立大学国際戦略推進機構
やまだあつし	名古屋市立大学人文社会学部

編集委員（五十音順）

上水流久彦（委員長）、北波道子、澤井律之、松田京子、松本充豊、
松金公正（副委員長）、三須祐介。

編集後記

ここ数年副委員長として関わってきましたが、第18号から編集委員長をつとめることになりました上水流（かみづる）久彦です。編集委員長として未熟なところばかりですが、皆さまのご指導とご助言のもと努力して参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、第18号をようやくお渡しできることになりました。昨年度仙台で行われた第17回学術大会のシンポジウムの概要、それに関連する論文が一本、シンポジウムとは関係しない論文が6本、書評が2本となっています。内容も政治学、文学、文化人類学、歴史学、経済学と幅の広いものになりました。書評に関しましては、試みとしてタイトルを加えるようにいたしました。書評に取り上げた本がどのようなものか、そのイメージがつかみやすくなったかと思えます。タイトルに魅かれて書評を読まれる方が一層多くなるものと考えております。

さて、発行にあたりまして長年に渡りご支援をいただいております一般財団法人台湾協会に厚く御礼を申し上げます。日本では学術雑誌、学術書は年々に発行が難しくなっており、『日本台湾学会報』がここまで無事に続いているのは、一般財団法人台湾協会の発行にかかる経費に対する補助があつてこそと、わたくしは考えております。

次に今号発行のためご協力いただいた執筆者の方、査読を引き受けてくださった学会内外の方、文成印刷のみなさまに心より御礼申し上げます。加えて、掲載にはいたりませんでしたが、投稿してくださった会員の方にも御礼を申し上げます。今回は12本の投稿論文がありました。学会誌のレベルの高さはたくさんの投稿者と査読者との研鑽のなかで生まれるものであり、多くの投稿こそが学会誌を支えるものだと思っております。次号以降でも多くの投稿をお待ちしております。

今回から横浜国立大学の長谷川健治会員に正式に英文アドバイザーになっていただきました。これまで日本台湾学会の英文チェックについてご協力いただいておりますが、5月の常任理事会でお認めいただきました。学会誌の一層の充実をはかっていきたいと思えます。

新しい企画ができないかとも考えております。何かアイデアがありましたら、学会誌のアドレス (gakkaiho@gmail.com) まで是非お知らせください。

(編集委員長 上水流久彦)

日本台湾学会報 第18号 2016年8月31日発行

編集・発行：日本台湾学会『日本台湾学会報』編集委員会
〒261-8545 千葉県美浜区若葉3-2-2
日本貿易振興機構 アジア経済研究所
佐藤幸人研究室気付
E-mail：nihontaiwangakkai@gmail.com
ウェブサイト：http://www.jats.gr.jp/